



Shanti 通信 (No.10) by akko



Hari Om! Shanti 通信もとうとう 10 号になりました。記念すべき 10 号のテーマは「神とは何か」。みなさんにとって神とはどんなものでしょうか? 日本ヴェーダ学会会長スワミ・メダサーナンダ師が 6/16(土)に沙羅舎「いのちの学校」で、『神とは何か』というテーマで話をして下さいました。

神とは何か

神とは何か、というテーマは、信仰深いか、無宗教か、ということでとらえ方が違ってきます。神様や神様の化身がないと宗教はありません。お釈迦様がないと仏教はない、イエスキリストがないとキリスト教はないし、アラーがないとイスラム教もないのです。宗教と神様は深く関係があります。神様のとらえ方もそれぞれです。ギャーナヨーギーは、お寺に入ることも神様の像に礼拝することはありませんが、神様のことを信じています。(ギャーナ・ヨーガは、何が実在で何が非実在かを識別するもので、神様の像は非実在になるため礼拝はしません。しかし、形のないブラフマンを神=実在として信じています。)

日本の僧侶は結婚しますが、他の国の僧侶は結婚しません。結婚をすると家族のために収入が必要になります。僧侶が仕事になり、その結果お寺の神聖な雰囲気なくなり、瞑想や祈りの時間も少なくなるからです。建物や祭壇が素晴らしくても、神像や神の絵を飾っても、霊的な雰囲気は出ません。毎日瞑想や祈り、参拝をすることで霊的な雰囲気になるのです。

無宗教だという日本人も、正月には神社や教会へ行きます。お祭りも行います。お葬式の時には僧侶を呼びます。「私は無宗教です」と言いながらも、実際はお祈りをします。本当は無宗教ではないのですが、信仰が浅いため、必要な時にだけ神様に祈ります。

宇宙や天照大御神や、お釈迦様や、神様のイメージは人それぞれです。神様を信じている人も、何が神様かわからなくて、信じていない人も、何を信じられなくて何が嫌いなのがわからないことが多いでしょう。神様とは何なのか理解しましょう。

宗教の神の本質はひとつです。神道は自然を信仰し、神様の形はありません。キリスト教、イスラム教、ユダヤ教は一神教で神の形があります。キリスト教の神様はイエスキリストひとり、仏教の神様はお釈迦様ひとりですが、ヒンドゥー教では神様がたくさんいて、選ぶことができます。でも、神様の形があってもなくても、その性質は同じとらえ方です。全知全能遍在・・・親切だったり厳しかったりします。



ヒンドゥー教では、神様は4つのとらえ方(種類、姿、考え方)をしています。

- 1.性質もない形もない純粹意識
- 2.形がないけれど、性質はある
- 3.形があり性質もある EX: シヴァ、ドゥルガーetc.
- 4.人間の形として現れる(神の化身) EX: お釈迦様、イエス・キリスト、ラーマクリシュナ etc.

イエスやお釈迦様の像を見て、イエスやお釈迦様を思い出します。お母さんの写真を見て、お母さんを思い出します。写真を飾り、それを愛します。神の像はシンボルです。像の素材である石や木材に礼拝するのではなく、その中にある神様を想像して祈るのです。深く考えないと、祈ることも自己成長もできません。精妙なことを意識して瞑想することはとても難しいのです。ですから、気持ちを集中するために像に祈ります。



創造者がいないと、創造はできません。コンピューターは人間が作りました。これと同じように、創造されたものには創造者がいます。宇宙にも創造者がいるはずですが。物質は、知識がある人でなければ動かさません。太陽や山も同じです。太陽が昇って沈むこと、山があること。すべて神様が動かしているのです。

神とは強い力と意識と知性がある存在。それは人間にもあります。絶対の至福、絶対の知識、絶対の存在。内なる魂、内なる自己、皆同じものです。神様と人間との違いは、マクロレベル(偉大なレベル)で神様がいて、ミクロレベルで人間がいることです。

賢者(悟った人)も、神様がいますと言っています。信頼できる人がそう言うので私たちは信じる事ができるのです。いつも嘘ばかり言っている人を、私たちは信じません。賢者は、純粹で、正直で、非利己的です。賢者は嘘を言う必要が何もないのです。悟った人たちは、靈的なものを選択していったから悟ることができたのです。私たちも同じように選択していくと、悟ることができるのです。神を思って深く祈ります。信仰が必要です。愛していないと、集中して神様のことを思うことはできません。像を礼拝し、神様の化身(イエスやラーマクリシュナ、お釈迦様など)のことを勉強します。そうしているうちに神を愛するようになります。



心を清らかにすることと集中して神様のことを考えることが一番大切です。このふたつを行って行けば、悟ることができます。神を感じる事ができれば、あなたの心は満たされるでしょう。



人間関係や仕事の問題などのストレスがたくさんあります。心の避難所や心の支えが必要です。毎日瞑想し、祈り、聖典の勉強をすれば、安定した幸せを感じることができます。正しいことを正しく行うことができます。無執着になれます。多くの苦しみは執着に基づいていて、執着から期待が生まれ失望します。無執着になるのは難しいのです。何が永遠で何が一時的か、何が無限で何が有限か、聖典を勉強すれば

理解することができます。神は永遠で無限で絶対のシンボルです。神を信じることができれば、執着や束縛、無知、悲しみ、ストレスなどを手放すことができます。

永遠の存在を集中して考えるためには、神様を理解することが必要ですが、内なる自己を理解するのも必要です。ミクロレベルで私たちの中にも神が存在します。内なる自己を深く考えましょう。深く考えると混乱が起きます。それは、あなたの勉強が進んでいるということです。混乱は避けられません。そのために先生が必要です。聖典の勉強も混乱の解決になります。混乱もあるし、落下もあります。それでも気にしないで、解決すればいいのです。七転び八起きです。



ヨガと出会って、アヒムサー(非暴力)を意識するようになりました。命あるものをできる限り傷つけない生き方です。思いでも、行動でも、言葉でも、人を傷つけてはいけません。それがすべての基準になりました。否定的な思いが浮かんだらそれに執着しないようにし流します。人を傷つけないように考えて行動し、言葉も選んで使うようになりました。それが心のコントロールにつながっていると思います。完璧にできなくても、実行しようと努力することが、その努力を積み重ねていくことが、大切なのだと思います。人生に起きることに偶然はなく必然であることに気づき、なんとなく感じていた見えない力が確信に変わるのです。その見えない力、私たちが生きている世界では説明がつかない力が、神様とよばれるものの力ではないでしょうか。その力を信じて優しい気持ちで生活することができれば、それだけで神様は私たちにたくさんのものを与えてくれるような気がします。

Om Shanti

